

こどもの心の発達



福岡大学医学部精神科 小児科 講師 高橋 隆 児

子育ては手が かかるもの

「育児は子どもとの自然な関わりから」

今月から私がしばらくこのコ

ラムを担当し、こどもの心の発達とその問題についてお話ししてみたいと思います。

このごろのお母さんは育児に對してとても熱心で、多くの育児書を読んでおられます。ですからこどもの成長については観察力も細かく、その成長に一喜一憂されることも多いようです。

最近の核家族化に伴い、母親は自分で過ごしたこども時代の経験を経験を親から教してもらう機会も少なく、こどもの心を自分を通して考えることがなかなかうまくできません。その結果、母親は育児に関する不安が強まる

ことが多いのでしよう。気軽に小児歯科でよく唇、特に下唇に写真のような膨隆をみかけることがありますが、本人は勿論保護者の方も気がつかずにいることが多いようです。これは粘液嚢胞（小児特有のものではなく成人にもできる）と呼ばれる

ものです。できる場所は唇が

相談できる人も少なく、どうしても育児書に頼らざるをえなくなりません。しかし、母親としての成長はこどもとの自然な関わりの中からしか生まれません。

本を読んで知的に理解しようとする弊害も少なくありません。

「乳幼児期が一番手がかかる」

日々の臨床場面をよく耳にすることは、乳児期に母を求めず、泣き叫ぶこともせず、おとなしく全く手がからなかったことがとても良いことであるかのよう

に話される母親も例外ではありません。人見知りもせず、あとおいもせず、誰にでも平気になつていてこどもに不安を持つ

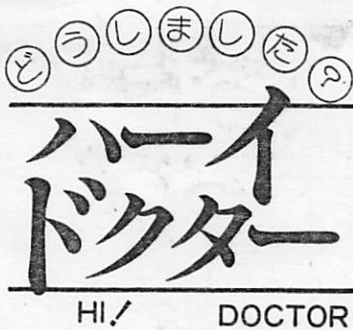
番多いのですが、時には舌の先端の裏側にできることもあり、この場合は特にブランドインス

オン嚢胞と呼ばれています。これは唇や舌下に沢山分布している唾液の通る管が何らかの原因で詰まったり損傷を受けたりして、そこに唾液が溜つたために

できたものです。唇を咬む癖がある子供などは特に多く見掛けられ、一度に2〜3個できることも

あります。大きさは米粒大のものから、大豆大より大きなものまで種々あり、色は嚢胞が

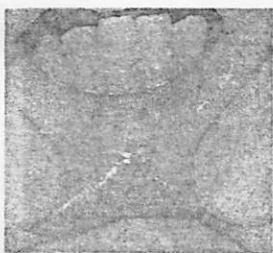
表面にある時は透明で、深くなると粘膜炎に近くなるように



福岡歯科大学 小児歯科学教室 助手 石井 香

粘液嚢胞(のうほう)

全摘出が 一番良い



下口唇にできた粘液嚢胞

相談できる人も少なく、どうしても育児書に頼らざるをえなくなりません。しかし、母親としての成長はこどもとの自然な関わりの中からしか生まれません。本を読んで知的に理解しようとする弊害も少なくありません。

たない母親もいます。自分の生活の多忙さも手伝って親に手をかけないのがお利口さんであると思いがちのようです。でもこれは大変な誤りです。乳幼児期は子育ての中でも最も手がかかる時期です。しかし、その中で親

子の心のかよいあいを通して初めて母親としての喜びを体験するので。もしこの時、楽をしたら、数年ないしは十数年後になつてとんでもない借金がふりかかってくることになるかもしれません。

健康コラム

熱せきがなければ安心

生後6カ月の女の子、かぜでもないのに鼻水が出ます。鼻の病気でしようか。

Q 1日数回ほんの少し鼻水が出る程度は心配ありません。くしゃみや

したあとや泣いたあとにも、鼻水は出るのですから。ただし、2〜3カ月未満の小さな赤ちゃんと鼻水を出すのは赤

信号です。急いで小児科へ。もう少し大きな赤ちゃんと

は、かぜをひいて鼻水を出してることがあります。よく「鼻かぜ」といいますが、熱

がなくて、くしゃみや鼻水だけのこともあります。熱を伴ったり、せきがなければ、暖かくして様子を見てよいでしょう。お誕生日を過ぎると、

鼻水

鼻水

「鼻かぜ」はもつと多くあります。ほかに心配な症状はいけれど、いつも鼻水が流れて1週間もたつ時や、鼻水がきたない色になった時は診察を受けましょう。お母さんたちは、小児科へ行こうか耳鼻科へ行こうか迷うかと思いますが、鼻だけの症状がつづいているようなら、耳鼻科、ほかの症状があれば小児科を受診してください。

もう少し幼児で、くしゃみやひどく、涙が出たり、目をかゆがる子どもがいます。鼻水は水つぽくて透き通っています。こんなときは、アレルギー性鼻炎のことがありますので、アレルギー専門医か小児科・耳鼻科の診察を受けましょう。

るようであれば、一度歯科医に相談してみたい。これらの処置として、嚢胞を全摘出することが今のところ一番良い方法だと思われま

す。局所麻酔下での簡単な手術ですので、あまり心配はいりません。